

備前市施策評価シート

(平成18年度事業)

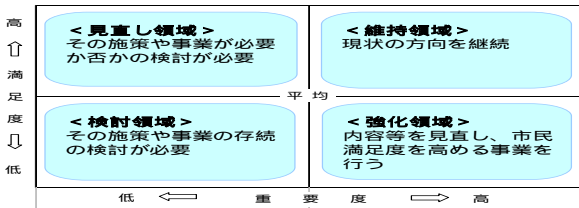
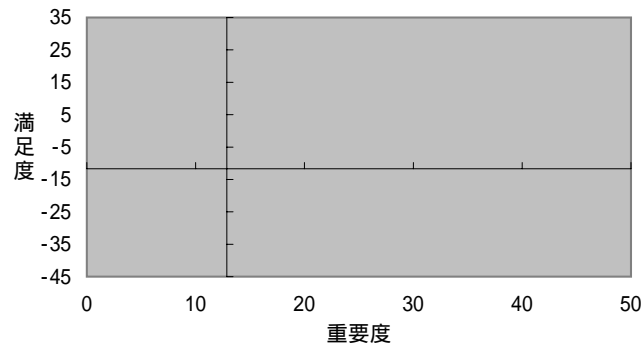
施策名 (小項目)	学校給食	コード	作成者	役職	教育総務課長
		03-01-05		氏名	山本 健次
			電話	64-1802	

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標)	地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目(基本施策)	未来を支える人材を育むまちづくり
施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	学校教育の一環として、安全でバランスのとれた学校給食を提供し、児童・生徒の心身の健全な発達を促進する。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	安全衛生管理、栄養管理の徹底と給食指導の充実を図っていく必要がある。また、効率的な運営から、調理場の新設移転、統廃合を進めるとともに、給食業務全般の民間委託について検討する。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>共同調理場の統廃合</li> <li>給食施設の整備</li> <li>民間委託の検討</li> <li>地産地消の奨励</li> <li></li> <li></li> <li></li> </ul>	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)			
満足度(%)			



調査結果に対するコメント、市民の反応等	指標の上昇は、食育に対する市民の認識が高くなっていることを示すもので、今後益々数値は高くなるものと思慮される。
調査対象でない施策の場合は、市民の反応等	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	評価年度		目標値		ベンチマーク	指標の説明	
		H17	H18	H23	H28			
1 学校給食において食育が重要であると感じている市民の割合	目標	%	60.0	70.0		80.0	90.0	市民意識調査結果による
	実績	%	54.7	69.8				
	達成率	%	91.2	99.7				
2 安全衛生管理と栄養管理	目標	箇所	5.0	5.0		5.0	5.0	6調理場を5共同調理場に再編
	実績	箇所	6.0	6.0				
	達成率	%	120.0	120.0				
3 調理場の統廃合計画進捗率・エアコン整備率・保温・保冷用コンテナ整備率	目標		6.0	6.0		4.0	5.0	配送を必要とする学校へのコンテナ
	実績		3.0	3.0				
	達成率	%	50.0	50.0				
4 民間業者への委託率	目標	箇所	1.0	1.0		3.0	5.0	1施設をモデル的に実施
	実績	箇所	0.0	0.0				
	達成率	%	0.0	0.0				

施策構成事務事業の評価

担当課長評価

施策を構成する事務事業名	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	事業分類	事業費(単位:千円)						優先順位 その他
				H17		H18		H19		
				直接事業費	人件費	直接事業費	人件費	直接事業費	人件費	
1 給食施設管理運営事業	C	給食調理場管理運営事業	維持管理	83,477	11,910	84,085	12,462			
		給食運搬車管理事業	維持管理	1,911		2,553	378			
2 学校給食運営事業	B	学校給食運営事業	ソフト事業	2,436		2,328				
		研修会等参加負担金事務	内部管理	9		12				
		市学校給食会運営支援事業	内部管理	50	1,200	50	475			
		学校給食振興期成会分担金事務	維持管理	1		1				
		学校給食共同調理場連絡協議会費	内部管理	20		20				

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)

	H17	H18	H19
	101,014	102,364	

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明

施策の評価

5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い

項目	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	3	地元食材の供給率は向上しているが、コンテナ導入数、統廃合計画に進展が見られない。	3	同左
2 事業構成の適当性	3	妥当な事業構成であると思うが、今後とも効率的な事業運営に努める必要がある。	3	同左
3 施策の有効性	4	児童、生徒への心身の健全な発達を促すため、これら事業を実施していく必要がある。	4	同左
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示	備前地域では、今後、幼稚園への給食を視野に入れ、備前中学校、伊部小学校へ給食供給できる共同調理場を整備し、最終的には、西鶴山、伊部(仮称)、伊里の共同調理場に集約する。また、備前、日生、吉永地域の全体の中で、業務の民間委託(一部委託含む)を検討する。		同左	
二次評価者コメント	経費の大部分は維持管理経費であり、今後とも効率的な運用に努めていくが、予算は前年並みを確保したい。		平成20年度予算の方向性 前年度並みの配分	